

森 詩恵

大阪経済大学経済学部 准教授

#### 韓国介護保険制度の創設とその現状に関する研究

本研究は、韓国老人長期療養保険制度の①制度の創設背景・目的、②制度の現状・課題分析に絞って検証した。研究方法は、先行研究を再整理したうえで韓国研究者、国民健康保険公団へのヒアリング調査をもとに検証を行った。研究結果は次の三点である。第一は、制度創設には日本・ドイツの制度の影響が強い点である。それは特に日本の制度を検討し制度設計したからである。第二は、制度創設に動き出したのは、「大統領の選挙公約やトップダウン・イニシアティブ」が非常に大きな影響を与えた点である。また、制度の大きな目的は家族ケアを支援することで家族解体の予防が可能となるという点である。第三は、制度評価は、サービス利用者増加やサービス利用による状態の維持・改善、支援体制の確立や雇用創出効果などのプラス評価としている。制度運営の課題は日本の制度でも解決すべき似た内容である。最も重要なことは、日本の制度を研究し作り上げた韓国の制度もサービス利用と保険料・利用者負担、介護報酬と施設経営・サービスの質がリンクしているという制度の根本的な問題は同じで、システム自体に問題を抱えているということができる。